

「新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた地域プラットフォーム形成シンポジウム」

日時：2021年9月24日（金）14:20-17:00

開催形態：オンライン開催（無料）

定員：150名

お申込方法：以下、URLよりお申込み願います。

https://www.jarec.or.jp/jarec_workshop_covid19_v2/index.html

【第2回】地域のコロナ対策に関するワークショップ

テーマ：「新型コロナウイルス感染症最前線の動きと感染防止に向けた新たなPCR検査体制」

（事例紹介1）「札幌市におけるコロナをめぐる連携体制の構築について」

札幌市保健所 医療対策室疫学担当部長 中西 香織 氏

（事例紹介2）「京都大学による全自動PCR検査システムに関する取組」（仮）

追而

（事例紹介3）「下水疫学による新型コロナウイルス感染者の検知と個別施設での適用」

株式会社島津テクノリサーチ

環境事業部 副事業部長兼分析研究センター長 八十島 誠 氏

概要：新型コロナウイルス感染症の感染者の糞便にはウイルスが排泄される事が明らかとなり、欧米諸国を中心に下水を用いた新型コロナウイルス感染症の感染者の早期検知、流行収束の見極めのツールとして下水疫学が急速に進展してきた。本講では、日本での下水疫学調査について紹介するとともに、弊社が行ってきた個別施設における下水疫学の応用である「京都モデル」の取り組みについて紹介する。